

保全活動日記 vol.26

2018年11月4日 (日)



● 保全活動実施報告

● 参加人数：37 名

● 活動内容：多様性の高い二次草原の復元をめざして、南西側草原エリアの草刈りを行いました。またその後、参加者全員で刈取ったクズのツルを使ってツルカゴを作りました。

● 実施日：2018年11月4日(日)

● 時間：9時00分～12時00分

● 天気：晴れ

活動実施場所 (草原化)

草原エリアでは、多様性の高い二次草原の復元を目指して、年2回の頻度を目標にネザサ刈りとクズの除去を行っています。前回に引き続き、南西側草原エリアで今まで刈り残していたネザサの刈取りを行いました。これに加え今回は、活動後半に予定している体験「ツルカゴ編み」の材料となるクズのツルを選別しながら集めました。

活動実施場所 ■ネザサ、クズの除去

before



after



クズのツルを選別し、取除きながら

■ ツル集めの様子



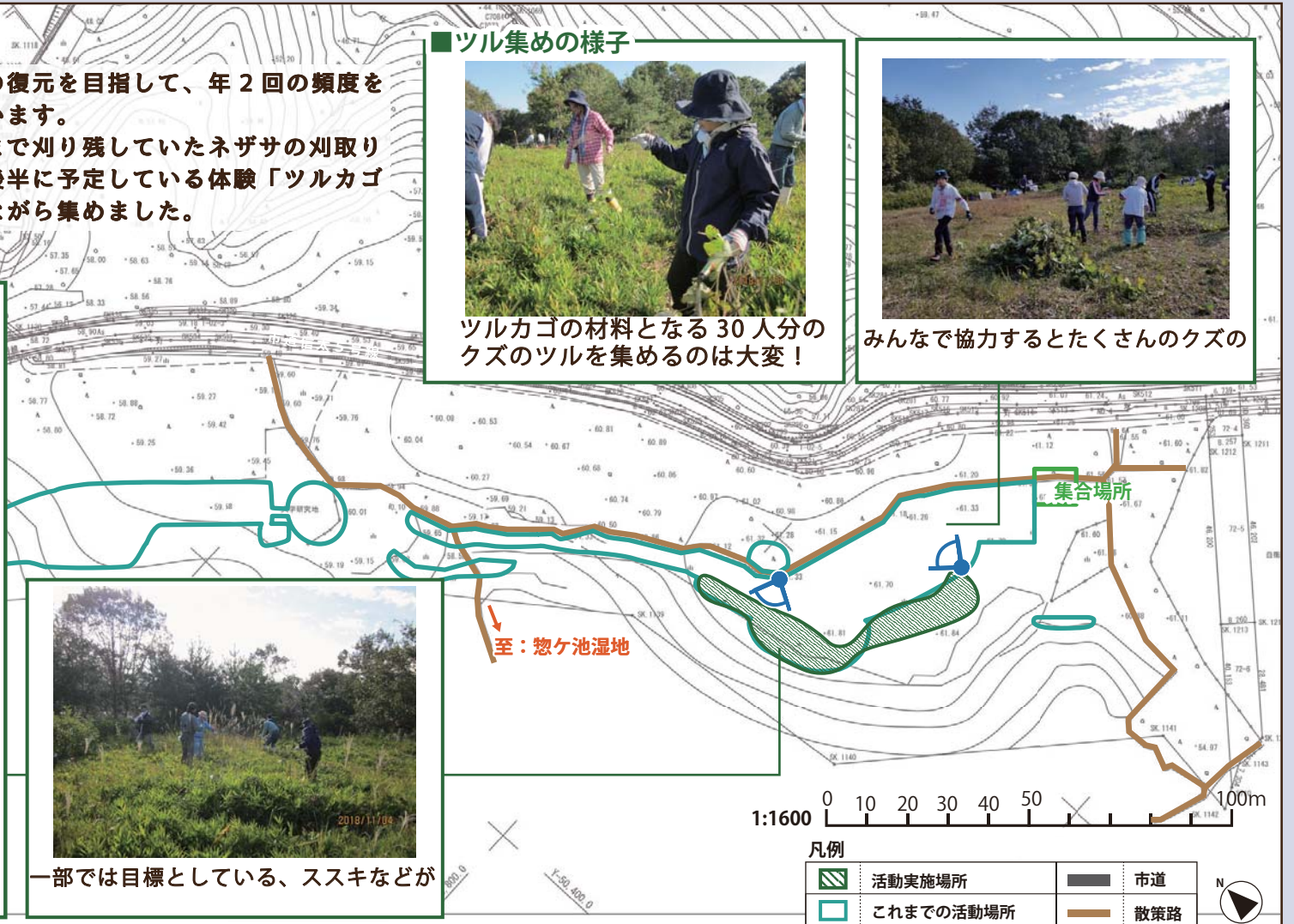
ツルカゴの材料となる30人分のクズのツルを集めるのは大変！



みんなで協力するとたくさんのクズの



一部では目標としている、ススキなどが



●特集 ツルカゴ編み！

■環境保全活動にいつも参加されている本藤さんが講師となり、ツルカゴ編みの「技」を教わりました。

＼最初のツルの組み方が重要／



講師の本藤さん



組み方が良くないと、美しく作れないとのことです。

＼もっと力を入れて強くツルをまきつけましょう／



ツルは乾燥すると縮むので、巻きつけが弱いと、後ですき間ができるということです。



技を体得した上達の早い方が、他の参加者を教える場面もありました。



うまくできたので、もっと美しいツルカゴづくりにチャレンジ！



ツルを見つけた場所や、草原の様子について会話す等、ツルカゴ編みをきっかけに参加者同士の交流も深まりました。



■ツルカゴの完成

＼もうすぐ完成がんばって／



オリジナルのツルカゴがたくさん作れました。芸術作品級？のツルカゴもありました。

■作品発表



参加者からツルカゴ編みの感想、自分が作ったツルカゴのセールスポイントなどを発表してもらいました。



一部の作品は、11月10日に開催された和泉市商工まつり信太山丘陵市有地PRブースに展示しました。

▼「信太山丘陵市有地」についての詳しい情報は、＼QRコードで読み取り／

市のホームページをご覧ください。

＼以下のワードで検索／

信太山丘陵市有地

検索

